

# 県政報告

## ■平成30年度補正予算（9月補正）

広島県議会9月定例会は9月18日から10月2日までの15日間の日程で開催され、7月豪雨災害関係の補正予算を中心に、条例などが審議されたほか、決算特別委員会の設置などが議決されました。

### 補正予算額 73,701百万円

平成30年7月豪雨による災害に伴い、8月補正予算に引き続き、被災者支援や災害復旧・復興等を実施します。また、6月補正予算編成後の状況変化等を踏まえ、必要性が認められる事業に適切に対応することを基本として、「欲張りなライフスタイル」の実現に向けた取り組みなどに時機を逃さず対応します。

## 1 平成30年7月豪雨災害に係る対策

67,136百万円

### (1) 学校支援 [31百万円]

#### ○ スクールカウンセラーの派遣

・被災した児童・生徒の心のケア等を行うため、スクールカウンセラーを派遣

### (2) インフラ強靱化 [39,822百万円 [債務1,075百万円]]

#### ① 災害復旧事業 (5,750百万円)

##### ○ 補助災害復旧事業

・土木施設災害復旧事業費（道路、砂防施設）、農林水産施設災害復旧事業費（共同利用施設）

#### ② 災害関連事業

##### ○ 一般公共事業 (22,650百万円)

・道路事業、河川事業、砂防事業、農業農村事業、漁場事業

##### ○ 直轄事業負担金 (2,900百万円)

・道路事業、河川事業、砂防事業

##### ○ 単独公共事業 (4,139百万円 [債務600百万円])

・道路事業、河川事業、砂防事業、治山事業、農業農村事業

##### ○ 市町土木工事受託費 (1,778百万円 [債務94百万円])

・市長が管理する公共土木施設の土砂等撤去・処分を市町から受託して実施

#### ③ その他

##### ○ 県営住宅の復旧 (15百万円)

・被災した県営坂住宅の土砂撤去や家具等の取換等を実施

##### ○ 水道施設の復旧 (2,590百万円 [債務381百万円])

・被災した水道施設の改良復旧や被災するおそれのある水道施設の未然防止対策等を実施

### (3) 災害廃棄物処理 [1,547百万円 [債務1,651百万円]]

- 災害廃棄物処理の支援（1,460百万円 [債務 1,540百万円]）
  - ・大量に発生した災害廃棄物を自ら処理することが困難となっている坂町から事務の一部を委託を受け、県が直接処理
- 災害廃棄物の早急な処理（87百万円 [債務 111百万円]）
  - ・大量の災害廃棄物の早急な処理を実現するとともに、受入期限のある出島処分場に県内の管理型産業廃棄物を集約するため、海上からの搬入を可能とする護岸施設を整備

#### （4）産業支援 [25,604百万円 [債務 45百万円]]

- 中小企業等や商店街への支援（24,753百万円）
  - ・地域の経済・雇用や商店街の商機能の早期回復を図るため、グループを形成し復興事業計画の認定を受けた被災中小企業等や商店街に対して、施設・設備等の復旧に要する経費を一部助成 等
- 小規模事業者への支援（200百万円）
  - ・小規模事業者の事業再建と持続的発展を図るため、被災した小規模事業者に対して、販路開拓等の事業再建に要する経費を一部助成
- 中小製造事業者への支援（4百万円）
  - ・中小製造事業者の復旧を支援し経営基盤の安定・強化を図るため、緊急的に広域取引商談会等を開催
- 国内外向け観光プロモーションの実施（128百万円）
  - ・本県観光業への風評被害を払拭し、落ち込んだ観光需要を喚起するため、国内外に向けてプロモーションを実施
- 農産物生供給体制の強化（491百万円）
  - ・被災した農業用施設・機械の修繕や再整備等を支援
- 広島空港の緊急利用促進（13百万円）
  - ・災害の影響による利用低迷が顕著な路線の早期回復を図るため、航空会社や旅行代理店等と連携したプロモーション等を実施
- 建設技術者等の確保（15百万円 [債務 45百万円]）
  - ・災害復旧事業の早期完了を図るため、一定の条件を満たす技術者を県外から雇用する県内建設事業者に対して助成金を支給

#### （5）県民の避難行動及び初動・応急対応検証 [32百万円]

- 県民の避難行動及び初動・応急対応の検証
  - ・県民に災害から命を守るための行動をとっていただくため、県民の避難行動について検証を行うとともに、防災体制の充実・強化のため、県の初動・応急対応を検証

#### （6）その他 [100百万円]

- 自作農財産の管理（5百万円）
  - ・県が管理する自作農財産の土砂除去を実施
- 警察装備の維持、運用（95百万円）
  - ・県民の安全・安心を確保するため、車両、船舶、ヘリコプターの燃料の追加確保や修繕等を実施

## 2 「欲張りなライフスタイル」実現の加速化

2,988百万円

#### （1）希望をかなえるための後押し [12百万円]

- 新たな教育モデルの構築に向けた調査・検討

・「これからの社会で活躍するために必要な資質・能力」を備えた人材を継続的に輩出できる教育環境を整備するため、新たな教育モデルの更なる具体化に向けた調査・検討を実施

## (2) ゆとりの創出 [1,130百万円 [債務 3百万円]]

### ① イノベーション・エコシステムの共通基盤の強化

#### ○ 「ひろしまものづくりデジタルイノベーション」の創出 (1,075百万円)

・デジタル化による県内産業の生産性と付加価値の向上のため、産学官の連携の下、「デジタルイノベーションを担う人づくり」と、「産学の創発的研究開発」を推進

### ② 多様な投資誘致の促進

#### ○ 田口浄水場の拡張 (53百万円)

・吉川工業団地に立地する受水企業の増量ニーズに対応するために必要な施設整備を実施

#### ○ 本郷地区における産業団地整備 (2百万円 [債務 3百万円])

・企業の立地ニーズ等を踏まえ、三原市本郷地区における産業団地 (2、3期) 整備のための設計業務等を実施

## (3) 地域活力の基盤づくり [30百万円]

### ○ 旧三江線沿線地域の活性化支援

・JR西日本から受領した寄附金を財源とする新たな交付金を創設し、旧三江線沿線地域の活性化を支援

## (4) 災害に強いまちづくり、自然環境の保全 [1,816百万円]

### ① ハード・ソフトが一体となった防災・減災対策

#### ○ ブロック塀等の緊急安全対策 (1,697百万円)

・県有施設等の適切な維持管理を図るため、ブロック塀等の耐震対策や劣化・損傷の状況に応じて、撤去・改修等を実施 等

### ② 自然環境の保全

#### ○ PCB廃棄物の適正な処理 (114百万円)

・本来処理すべき保管事業者が不明・不存在のため、法律に定められた期限内での処理が見込まれない高濃度PCB廃棄物を行政代執行により処理

#### ○ かき養殖資材の適正処理対策の推進 (5百万円)

・環境に配慮した持続的なかき養殖生産体制の構築を図るため、海ごみにつながる養殖資材の流出実態を調査

## 3 その他

3,577百万円

### ○ 公共事業の国の認証増を踏まえた予算整理等 (2,702百万円)

・補助公共事業等の認証状況において、当初予算を上回る内示のあったものについて、予算整理を実施

### ○ 道路管理瑕疵に伴う損害賠償 (75百万円)

・平成30年6月に安芸太田町で発生した一般国道191号の法面崩壊により発生した事故について、相手方に対し、賠償を実施

### ○ 財政調整基金への積立 (800百万円)

・地方財政法に基づき、平成29年度決算剰余金の一部を財政調整基金へ積立

☆ 8月補正、専決処分、9月補正による7月豪雨災害に係る補正予算額  
132,454百万円+480百万円+67,136百万円=200,071百万円  
総額で2,000億円もの復旧・復興対策を実施!

## 《参考》

7月3日から8日にかけて各地を襲った豪雨による災害復旧事業や被災者支援を緊急に実施するため、8月3日に臨時会を開催しました。

### ■平成30年度補正予算（8月補正）

**補正予算額132,454百万円** ※百万円未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。

- 1 応急対策 [13,768百万円]
  - 災害応急援助費
  - 感染症予防事業費
  - 災害応急活動費 等
- 2 被災者支援 [1,898百万円]
  - 災害対策費
  - 生活福祉資金貸付利子補給
  - 災害援護資金貸付利子補給
  - 被災者生活支援事業 等
- 3 学校支援 [186百万円]
  - 高等学校等通学支援事業
  - 特別支援学校通学対策費
- 4 インフラ強靱化 [115,596百万円]
  - 災害復旧事業
  - 災害関連事業
  - 流域下水道事業費特別会計
  - 工業用水道事業会計
  - 土地造成事業会計
  - 水道用水供給事業会計 等
- 5 災害廃棄物処理 [700億円]
  - 災害廃棄物対策
  - 港湾特別整備事業費特別会計 等
- 6 産業支援 [307百万円]
  - 農産物生産供給体制強化事業
  - 農業制度資金利子補給等事業 等

### ■専決処分（8/10）

**補正予算額480百万円**

7月豪雨災害による風評被害の影響を排除し、観光再生を図ることを目的として、周遊旅行の促進等を図るための宿泊助成等を実施

## ■ 条例

〈9月定例県議会〉

○広島県手数料条例の一部を改正する条例 等 (9件)

## ■ 人事案件

〈9月定例県議会〉

○広島県教育委員会委員の任命の同意について (1件)

## ■ その他の議案

○工事請負契約の締結について 等 (12件)

## ■ 180条専決処分報告

〈9月定例県議会〉

○訴えの提起について 等 (4件)

〈8月臨時県会〉

○和解に応じることについて 等 (2件)

## ■ 報告事項

〈9月定例県議会〉

○県が資本金の四分の一以上を出資等している法人の経営状況説明書 等 (9件)

## ■ 決議及び意見書

〈9月定例県議会〉

○国土強靱化に向けた防災・減災対策の充実強化を求める意見書 (5件)

○旧優生保護法による被害者救済を求める意見書

○児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書

○私学助成の充実強化等を求める意見書

○観光振興対策の充実強化を求める意見書

〈8月臨時会〉

○豪雨災害対策に関する意見書 (1件)

## 福山市域での浸水対策 ～機動性の高い排水ポンプ車を整備～

- 福山市域では、7月豪雨により、2河川で破堤、28河川で越水の浸水被害が発生しました。
- 破堤した河川の一つである吉野川については、破堤後、速やかに応急工事に着手し、仮復旧工事を完了したところです。



〔吉野川の破堤状況〕

- 平成30年9月1日、県東部建設事務所に「緊急浸水対策班」が設置され、国や福山市との連携の下、浸水被害が続いている芦田川水系の浸水対策を重点的に検討・実施する体制が整備されました。
- また、平成31年3月末には、県東部建設事務所へ排水ポンプ車(30 m<sup>3</sup>/分)1台が配備予定となっています。機動性の高いポンプ車の整備により、次期出水期の排水能力アップが期待されます。



〔配備されるポンプ車のイメージ〕

## ブロック塀の緊急安全対策 ～福山市内の県立施設で実施～

- 今年6月の大阪北部地震により、倒壊したブロック塀の下敷きとなって小学4年生の児童が亡くなったことを受け、県有施設のブロック塀について緊急に安全点検を行った結果、福山市内では、県立学校9校をはじめとした25施設で安全性に問題のあるブロック塀があることが判明しました。
- これらのブロック塀について、早急に撤去や改修を行うこととし、平成30年9月補正で必要な予算（福山市内分として概算で248百万円）を確保して安全対策を進めています。



〔神辺高校の現在の状況〕



〔改修後のイメージ〕

「県産木材利用促進条例」を制定  
～所属会派が発案した議員提案による条例～

- 私が会長を務める広島県農林業活性化議員連盟は、自民党系の議員40名で構成され、農林業の活性化や農山村の振興のために活動しています。
- 広島県木材組合連合会会長から副議長の職にあった私に条例制定の要望があり、私が所属する会派からの提案により条例化を検討しました。
- 県産木材の利用促進に関する施策を総合的かつ計画的に推進することで、品質の高い製品を安定的に供給し、林業及び木材産業の振興による本県経済の活性化、循環型社会の形成、豊かな県民生活の実現を図ることを目的とする条例が、平成30年9月定例会において可決成立しました。



〔農林業活性化議員連盟の勉強会の様子〕



〔農林業活性化議員連盟会長として挨拶〕